

第1回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日時 令和元年6月20日(木) 14:00~16:00

2. 出席者 植野康夫委員、中川直子委員、筒井寛昭委員、吉田育弘委員
加藤学長、宮下理事(教育)、渡辺理事(総務)、藤井副学長(企画)
陪席者 浅田理事(渉外連携・附属学校園)、岩井参与

3. 議題

◎審議事項

- 1 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書について(資料1)
- 2 平成30事業年度決算(案)について(資料2)
- 3 学長選考会議委員の選考について(資料3)
- 4 国立大学法人奈良設立に関する合意書について(資料4)
- 5 国立大学法人奈良教育大学教職員採用・退職等規則等の改正について(資料5)

◎報告事項

- 1 令和元年度授業料等免除可能額について(資料6)
- 2 平成31年度奈良教育大学一般入試(前期日程)における出題の誤りについて(資料7)
- 3 国立大学協会総会及び日本教育大学協会理事連絡会等について(資料8)
- 4 本学の産学連携について(資料9)

◎その他

4. 議事

冒頭に、6月18日にお亡くなりになった元経営協議会委員(前橿原考古学研究所長)である菅谷文則先生を偲んで黙祷を行った。

議事に先立ち、学長より令和元年度からの新体制である執行部の紹介と挨拶があった。

引き続き、今年度からの任期となる経営協議会学外委員の紹介と挨拶があり、その後、異動のあった課長より挨拶があった。

◎審議事項

- 1 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
企画担当副学長から、資料1に基づき、平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書について今回より図表を多く取り入れてアピールできるように工夫した旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。
- 2 平成30事業年度決算(案)について
総務担当理事から、資料2に基づき、平成30事業年度決算(案)について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。
- 3 学長選考会議委員の選考について
総務担当理事から、資料3に基づき、学長選考会議委員の選考について説明があり、互選により、学外委員から4名(植野委員、筒井委員、吉田委員、米川委員)が選出された。
- 4 国立大学法人奈良設立に関する合意書について
学長から、資料4に基づき、国立大学法人奈良設立に関する合意書について説明があり、また国立大学

の一人複数大学制度等について、事務局次長より詳しい説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

5 国立大学法人奈良教育大学教職員採用・退職等規則等の改正について

総務担当理事より、資料5に基づき、国立大学法人奈良教育大学教職員採用・退職等規則等の改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、委員より教職員採用の規則について、附属の校長職を設置及び副校長職を明記すべきではないかとの意見があった。

◎報告事項

1 令和元年度授業料等免除可能額について

総務担当理事より、資料6に基づき、令和元年度授業料等面可能額について報告があった。

2 平成31年度奈良教育大学一般入試（前期日程）における出題の誤りについて

教育担当理事より、資料7に基づき、平成31年度奈良教育大学一般入試（前期日程）における出題の誤りについて報告があった。

3 国立大学協会総会及び日本教育大学協会理事連絡会等について

学長より、資料8に基づき、国立大学協会総会及び日本教育大学協会理事連絡会等について報告があった。

4 本学の産学連携について

教育担当理事より、資料9に基づき、本学の産学連携について報告があった。

○主な意見は次のとおり

- ・インターンシップで、ならどっとFMIにも受け入れをしており、自分たちが経験したことをラジオを通じて伝えている。是非、学校の教員になる方もきて、いろいろな経験を積んで欲しい。
- ・いろいろな知識を持った先生が少なくなっているように感じる。横のつながりを持つためにも、企業でインターンシップをするのはよいことではないか。
- ・経験を積んだ教師になるためにも、教員になる前に企業で学ぶシステムにしてはどうか。
- ・教員採用試験で半年や1年の企業就業体験を評価する方法があっても良いのではないか。